



こちら、三中図書館 12月号



市川市立第三中学校図書館 2020.10.28

冬の寒い日に暖かい室内でする読書は最高です。

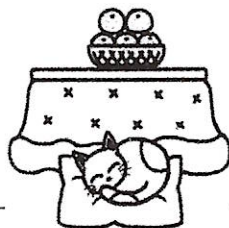
勉強や大掃除の合間に、本の世界を旅してリラックスしましょう。

冬休み用の本を貸し出します。

貸出実施日：12月16日(水) 18日(金) 21日(月) 23日(水)

貸出冊数：ひとり10冊まで

貸出期間：3週間



おすすめの本

『愛蔵版 ジュニア空想科学読本①』 柳田理科雄

三中図書館の4類の書棚の最上段には『空想科学読本』が十数冊並んでいます。人気のある本なので、新刊が出るたびに購入してきました。どんな内容の本かというと、漫画やアニメやラノベの世界でおこる不思議なことや夢のようなことは、実際の科学にあてはめてみるとどうなんだということを考える本で、しかも簡単に「ありえない～」でかたづけられないでどうすれば実現できるのかという方向であれこれ妄想する本なのです。

今回購入したのは、筆者柳田理科雄さんが『空想科学読本』の中で人気の高かった話題を選んで、さらにわかりやすくコンパクトに書き直してまとめたジュニア版です。活字も大きくなって読みやすい上に、すべての漢字に読み仮名がついています。

読者からの質問に答える形式になっているのですが、この質問を読むだけで笑えます。私が思わず噴き出した質問はこれです。

「きかんしゃトーマスと彼の仲間たちはなぜ事故ばかり起こすのでしょうか？」

本を開いて、柳田さんの分析・解説をよんでみてください。

新しい本が入りました。*

【0～8類】

『IT用語図鑑 ビジネスで使える厳選キーワード256』 『ドタバタ関ヶ原』

『愛蔵版 MAPS 新・世界図絵』 『愛蔵版 ジュニア空想科学読本①』

『上野先生、フェミニズムについてゼロから教えてください!』

『未来へ架ける世界の子ども—田沼武能写真集—』 『ポップアップの作り方』

『わたしたちの家が火事です 地球を救おうとよびかけるグレッタ・トゥーンベリ』

『毎日読みたい365日の広告コピー —人生で本当に大切なことが書いてあった—』

【9類】

『文豪の素顔—写真で見る人間相関図—』 高橋敏夫・田村景子監修

『ハリネズミは月を見上げる』 あさのあつこ 『逆ソクラテス』 伊坂幸太郎

『スガリさんの感想文はいつだって斜め上』 平田駒

『スガリさんの感想文はいつだって斜め上 2』 ”

『意味が分かんなく話』 藤白圭 『ブスの自信の持ち方』 山崎ナオコ 著

『若草物語 I & II』 L・M・オルコット 谷口由美子訳

『チェスタトン ショートセレクション ブラウン神父呪いの書』

ギルバート・キース・チェスタトン 金原瑞人訳

『秘密のノート』 ジョー・コットリル 杉田七重訳

『グラフィック版アンネの日記』 アリ・フォルマン編 デイビッド・ポロンスキー 絵
ハヤカワ・ジュニア・ミステリ アガサ・クリスティー作品

『名探偵ポアロ ABC殺人事件』 『名探偵ポアロ メソポタミアの殺人』

『名探偵ポアロ 雲をつかむ死』 『名探偵ポアロ オリент急行の殺人』

『そして誰もいなくなった』 『茶色の服の男』

『ミス・マーブルの名推理 パティントン発4時50分』

『ミス・マーブルの名推理 予告殺人』